

令和4年度 第3回 江別市社会教育委員の会議

日 時：令和5年2月17日（金）15時00分から15時50分まで

会 場：教育庁舎 大会議室

出席者：社会教育委員 委員長 井上 大樹

教育委員会：教育長 黒川 淳司

副委員長 藤田 昌之

教育部長 伊藤 忠信

委員 岩田 草平

教育部次長 佐藤 学

委員 黒河内 葉子

生涯学習課長 田中 紀克

委員 松山 和子

スポーツ課長 堀井 修

委員 藤田 くみ子

高校総体推進担当参事 稲垣 恭典

委員 竹島 美智代

情報図書館長 表 誠

委員 北川 智浩

郷土資料館長 櫛田 智幸

委員 木滑 幸江

青少年係長 左川 貴久

欠席者：社会教育委員 委員 辻 麻紀

文化振興担当主査 橋本 梨江

社会教育主事 中田 稜子

生涯学習係長 佐藤 愛子

傍聴者：なし

会 議 録	
1	開会
2	教育長あいさつ
3	委員長あいさつ
4	教育委員会からの第10期江別市社会教育総合計画の諮問について 黒川教育長から井上委員長へ諮問書を手交し、受理された。
5	議題（1）第10期江別市社会教育総合計画策定に係る専門部会委員の選任について
田中生涯学習課長	本会議の運営は、江別市社会教育委員の会議運営に関する規則第3条の規定により、委員長が進行する定めとなっております。井上委員長よりお願いいたします。
井上委員長	それでは、議題の（1）第10期江別市社会教育総合計画策定に係る専門部会委員の選任について、事務局から説明をお願いします。
佐藤生涯学習係長	「江別市社会教育委員の会議運営に関する規則」第7条に「会議は必要に応じて専門委員を置き、専門部会を置くことができる」となっておりますので、専門委員5名を選出いただきたいと思います。前回の会議で説明させていただきましたが、人選については、正副委員長と協議させていただいた案をもとに決定していただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
井上委員長	ただいま説明がありましたが、委員の中から専門部会委員として5名を選出することとなります。委員名簿が配られておりますので、ご覧ください。

井上委員長	案としましては、藤田委員、松山委員、辻委員、木滑委員、そして私の5名を専門部会委員としてお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。 (異議なし) それでは、専門部会委員の皆さん、よろしくお願いいたします。第1回の専門部会は、この会議が終了したあと、休憩をはさんで行います。
5 議題(2) 計画作成に係る社会教育委員の会議及び専門部会のスケジュールについて	
井上委員長	つづきまして、議題の(2)計画作成に係る「社会教育委員の会議」及び「専門部会」のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
佐藤生涯学習係長	お配りしております資料2「第10期江別市社会教育総合計画作成に係る社会教育委員の会議及び専門部会のスケジュールについて」をご覧ください。 こちらは、本日2月17日以降の計画作成の流れについて、「社会教育委員の会議」及び「専門部会」の日程を中心に、庁内会議や定例教育委員会、パブリックコメントなどによる意見反映などとの関連も含め表にしたものです。 本日、この会議の後に第1回専門部会を開催し、次期計画の体系案について協議させていただき、3月中旬の専門部会で計画体系案を決定する予定です。4月から6月にかけての専門部会では、計画の素案について協議を行い、庁内会議での協議も踏まえて専門部会としての素案を決定します。専門部会で決定した素案については、6月から7月に関係団体へ意見調査し、8月の社会教育委員の会議において審議を行います。そして、9月にパブリックコメントを実施し、10月から11月にかけての専門部会、社会教育委員の会議でパブコメの結果報告、計画案の修正を行います。12月に諮問に対する答申を行い、令和6年1月の定例教育委員会で審議、決定し、2月の社会教育委員の会議で計画策定について報告する予定となっております。 資料3～資料7は、専門部会での審議資料になります。本で行われる専門部会では、主に資料3の計画体系案について協議させていただく予定です。説明は以上です。
井上委員長	第10期の計画策定は、専門部会を中心に審議していき、随時、本会議に報告されますが、専門部会以外の委員のみなさんも資料を確認され、お気づきの点等がありましたら、事務局までご連絡ください。ご指摘いただいた点は専門部会で協議していきますので、よろしくお願いいたします。 そのほか、質問・意見等はありませんか。 (質疑なし)
井上委員長	それでは、次に進ませていただきます。

5 議題（３）令和５年度社会教育予算（案）に係る主要事業・補助金について	
井上委員長	議題の（３）令和５年度社会教育予算（案）に係る主要事業・補助金についてですが、まず主要事業について、説明をお願いします。
田中生涯学習課長	それでは、お手元の資料に基づき、令和５年度社会教育予算（案）に係る主要事業につきまして、それぞれ所管課から説明させていただきます。 はじめに、令和５年度の予算につきましては、２月２２日から開催される令和５年第１回江別市議会定例会に上程され、議決を経て確定するものです。そのため、本日まで説明する主要事業は、予算案の段階であることをご理解いただき、取扱にご留意願います。 次に、事前配付しております資料について説明します。資料８、「令和５年度絵で見る社会教育事業（主要事業）」という写真付きの資料は、令和５年度に予定している主な社会教育事業であり、この資料に基づいて各所管課から説明いたします。次に資料９は、「令和５年度社会教育予算（案）に係る主要事業一覧」で、１枚目両面は、第６次江別市総合計画に基づく施策体系です。次のページからは、事業名や主な内容、令和４年度当初予算額、令和５年度当初予算案、増減額などを記載しています。 それでは、生涯学習課の主な事業についてご説明申し上げます。資料８まで戻っていただいて、１枚目をご覧ください。 １段目の「旧町村農場保存活用推進事業」は、今年度実施しました市場調査や市民ワークショップ等を踏まえ、１１月に策定した旧町村農場保存活用整備方針に基づき、改修工事を実施します。２段目の「北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業」は、民間利活用の始まった北海道林木育種場旧庁舎を新たな市民・学生の交流拠点として活用してもらうために各種イベントを開催するもので、建物歴史セミナーや市内大学活用セミナーを開催する予定です。３段目の「市民芸術祭開催支援事業」は、若手作家によるアートイベントである「まちなかアート月間」開催に係る経費のほか、市民ミュージカル開催に向けた準備経費への補助などに係る経費を計上しております。４段目の「青少年キャンプ村事業」は、令和４年度で開催５４回目を迎えた歴史ある事業です。令和２年度は新型コロナウイルスの影響により中止、令和３年度は参加者に定員を設け、テントでの１泊２日の行程を日帰りに見直しするなどして開催、令和４年度は、コロナ禍でのテント泊の感染リスクを可視化する実験を行い、テント泊安全性を確認した上で、従来のテント泊にて開催しました。令和５年度においても、コロナ禍以前の開催方法による実施をめざしながら、引き続き感染症対策を最大限講じて開催する予定です。同じく４段目の「友好都市提携４５周年記念事業」は、令和５年度に高知県土佐市との友好都市提携４５周年を迎えることから、記念行事として実施する両市の相互訪問や記念式典の開催等に係る経費を計上しております。 以上で、生涯学習課所管事業に関する説明を終わります。
堀井スポーツ課長	続いて、スポーツ課の主な事業についてご説明申し上げます。 資料８の２枚目、主要事業②をご覧ください。１段目の「市民体育館改修整備事業」は、安全かつ快適に市民がスポーツに親しむ環境を持続的に提供するため、市民体育館の給水設備改修工事及び柔剣道室の床改修工事を実施します。２段目の「高校総体北海道大会開催事業」は、令和５年度全国高校総体における江別市開催競技の準備と大会運営に要する経費で

表 情報図書 館長	あり、江別市では、競泳・ホッケーの２競技を開催予定であります。 以上で、スポーツ課所管についての説明を終わります。 続きまして、情報図書館の主要事業について、ご説明いたします。 ３段目の「子どものための読書環境整備事業」ですが、学校図書館の環境整備や教育活動の支援のために、学校図書館を巡回する司書４名、これを支援する司書１名を配置する経費と、支援に伴う消耗品費、図書購入費を計上しております。４段目の「情報図書館コンピュータ学習室事業」は、初心者向けパソコン教室の開催や、市民ボランティアの協力のもと、パソコン講習会やインターネット体験の実施に必要な経費を計上しております。 以上で、情報図書館関係の説明を終わります。
櫛田郷土資 料館長	続きまして、郷土資料館並びに、補助執行を受けておりますセラミックアートセンターの主要事業につきまして、ご説明いたします。 資料は、主要事業③をご覧ください。郷土資料館事業からご説明します。１段目の、ふるさと江別塾「江別を学ぶ」開催事業は、市民の郷土史に対する理解を深めてもらうために、歴史講座等を開催するものです。引き続き、小学生を対象に学芸員の仕事などを体験してもらう「子ども学芸員カレッジ」や、市内の史跡を見学する「再発見・江別探訪」などの開催を通じて、市民が江別の歴史を学び、文化財や史跡に親しむ機会を提供してまいります。２段目の「埋蔵文化財発掘調査事業」は、文化財保護法に基づく埋蔵文化財の保護に要する経費で、見晴台地区における未調査区域での詳細分布調査や、高砂遺跡等に係る整理作業などを行うものです。 次にセラミックアートセンター事業について、ご説明します。３段目の「セラミックアートセンター企画展開催事業」は、市内大学等との連携による「第９回江別市中学校・高校美術部合同展」のほか、収蔵品を用いたテーマ展等を予定しています。４段目の「陶芸文化普及振興事業」は、センターの特徴を活かしながら生涯学習とやきもの文化の普及啓発を図っていかうとするもので、各種陶芸教室、陶芸体験、技法講座等のほか、工房利用の１年間の成果を発表する「工房利用者作品展」を開催します。同じく４段目の「セラミックアートセンター改修事業」は、ホールの利活用促進を図るため、経年劣化が進み点灯しないエントランスホールの照明器具をＬＥＤ灯へ更新するものです。説明は以上です。
井上委員長	つづいて、補助金交付調書について、説明をお願いします。
田中生涯学 習課長	令和５年度社会教育予算（案）に係る補助金交付調書についてご説明いたします。 資料１０をお開き願います。これは、社会教育法の第１３条に「地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない」と規定されていることから、補助金を交付する団体や補助する事業内容についてご説明するものです。 それでは、主な補助金についてご説明申し上げます。上から３段目の「生涯学習団体支援事業」は、江別市生涯学習推進協議会の活動に係る経費を補助するもので、当協議会では、生涯学習に関する講座を開催しているほか、生涯学習に関する情報を広報誌で定期的に発信

	するなど、市民の主体的な生涯学習活動を支援しています。下から２段目の「市民芸術祭開催支援事業」は、まちかどコンサート開催、まちなかアート月間開催に係る経費をそれぞれの実行委員会に補助するほか、市民ミュージカルの準備に当たる年となるため、実行委員会に対し脚本や作曲などに要する費用を補助します。一番下の段の「芸術鑑賞招へい事業」は、芸術鑑賞の機会を充実させることを目的に、舞台芸術分野のプロを招へいし、質の高い公演を企画する市民団体を支援するもので、音楽公演団体、演劇公演団体の活動を補助しております。次のページをお開き願います。上から２段目の「はたちのつどい開催事業」は、２０歳年齢到達者を祝福・激励し、社会人としての責任と自覚を促すことを目的に開催する「はたちのつどい」に係る経費を補助します。成年年齢が２０歳から１８歳に引き下げられましたが、いわゆる「成人式」の対象年齢は従前の２０歳のまま維持して開催します。説明は以上です。
井上委員長	ただいま、社会教育予算（案）について説明がありましたが、委員の皆さんから質問、意見等はありませんか。
藤田副委員長	公民館の管理運営事業の予算案が100,271千円となっていますが、これは、大麻公民館、野幌公民館、中央公民館の３公民館分で、市民文化ホール管理運営事業はえぼあホールでよかったでしょうか。中央公民館にはコミセンもありますが、これにはコミセン分は含まれていないのでしょうか。
田中生涯学習課長	資料の同じページにあります、コミュニティセンター管理運営事業17,187千円がコミセン分になります。施設的に中央公民館とコミセンが併設されていますが、予算上は２つの事業となっています。大麻公民館と市民文化ホールも同様です。予算は分かれています、受託している指定管理者は同じところが一体で管理運営しています。
藤田副委員長	スポーツ大会等振興補助事業40,989千円とありますが、先程説明のあった高校総体北海道大会開催事業34,238千円は、この事業に含まれているのでしょうか。
堀井スポーツ課長	高校総体北海道大会開催事業は、ご覧いただいている資料の一番下に記載がありますが、スポーツ大会等振興補助事業とは別で予算措置しています。
藤田副委員長	高校総体はホッケーと水泳でしたが、これは高体連と折半なのでしょうか。
稲垣高校総体推進担当参事	高校総体の費用は、全体費用のうち、国の補助金や高体連からの負担金、参加する選手の参加料といったものを除いて、北海道と市が４対３で負担することになっています。
藤田副委員長	ありがとうございました。

井上委員長	ほかにありませんでしょうか。特になければ、私からよろしいでしょうか。 主要事業の予算で、情報図書館の子どものための読書環境整備事業について先程説明がありました、巡回司書、支援司書のための経費が2,410千円拡大しています。一方で、図書館運営管理事業が5,172千円拡大していますが、こちらも特別な理由があるのでしょうか。
表情報図書館長	子どものための読書環境整備事業は2,410千円増額しておりますが、司書が1名増えたので、その経費が増えています。図書館運営管理事業の予算額は91,171千円で、5,172千円増額となっておりますが、電気代や重油等の燃料費の高騰によるものです。
井上委員長	司書2名分の費用が増大したということですね。
佐藤教育部次長	司書1名で2,410千円増額ですので、司書2名分以上の経費が燃料費で増額していることになります。
井上委員長	これは厳しいですね。みなさんの暮らしも厳しくなっていると思いますが、こういうところにしわ寄せがきているということが分かりました。ありがとうございました。
竹島委員	生涯学習課の友好都市提携45周年記念事業ですが、土佐市との相互訪問がコロナ禍で中止されていたと思いますが、コロナ前の時よりも45周年のために増額しているということでしょうか。
田中生涯学習課長	友好都市提携45周年記念事業ですが、令和4年度予算はゼロ、令和5年度が3,608千円となっております。これは周年行事を5年ごとに行っておりまして、こちらから市長を中心とした訪問団が土佐へ行き、また、土佐市からも市長を中心とした訪問団が江別に来まして、それぞれ文化団体やスポーツ団体のほか、関係者も一緒に訪問し、交流を深めるという事業であります。コロナで中止となっている小中学生の事業は、資料に記載の小中学生国内交流研修事業になります。市内の小中学生12名を10月に派遣し、2月に土佐市の小中学生を受け入れる、これを毎年予算措置していましたが、令和2年度から3年間、コロナで実施できていませんでした。2類から5類、マスク着用云々とも言われていますし、今年度はキャンプの宿泊も再開しました。徐々に徐々に各種事業が再開しておりますので、来年度は是非、小中学生にとって貴重な経験となる相互交流が再開できればと思っております。45周年記念事業は5年ごとに大人が中心となっていく交流事業で、毎年行っているのは小中学生国内交流研修事業になります。
竹島委員	ありがとうございました。
井上委員長	最後に説明のありました補助金については、社会教育委員の会議で確認することになっております。補助金も含めて、質問、意見等はありませんでしょうか。この後でもお気づきの点がありましたら事務局まで問合せください。補助金について会議では異論はなかったと確

井上委員長	認したいと思いますが、よろしいでしょうか。 (異議なし) では、次に進ませていただきます。
6 その他	
井上委員長	次第6、その他について、事務局から何かありますか。
佐藤生涯学習係長	1点目、机上に社教情報を配付しておりますので、ご一読ください。 2点目、来週25日(土)にえぽあホールにて、令和4年度の江別市青少年文化賞・スポーツ賞の贈呈式が行われます。全国大会、全道大会で優秀な成績を収めた青少年、総勢43個人、30団体を表彰いたします。来賓として、当社会教育委員の会議の藤田副委員長が、文化協会理事長として臨席いたします。 3点目、この後、引き続きこの会場で専門部会を開催しますので、専門部会委員の皆さんは、このままお残りください。以上です。
井上委員長	他に、委員の皆さんから質問、意見等はございませんか。 (質疑なし)
井上委員長	なければ、以上をもちまして、第3回江別市社会教育委員の会議を閉会いたします。なお、第1回の専門部会は、休憩をはさんで10分後に開催しますので、専門部会委員の皆さんは、引き続き出席をお願いします。 皆さんお疲れ様でした。